

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

**特許第6733074号  
(P6733074)**

(45) 発行日 **令和2年7月29日(2020.7.29)**

(24) 登録日 令和2年7月10日(2020.7.10)

(51) Int. Cl. F I  
**AO1G 9/08 (2006.01)** AO1G 9/08 G10B

請求項の数 5 (全 18 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2020-521844 (P2020-521844)</p> <p>(86) (22) 出願日 令和1年5月16日(2019.5.16)</p> <p>(86) 国際出願番号 PCT/JP2019/019424</p> <p>(87) 国際公開番号 W02019/230408</p> <p>(87) 国際公開日 令和1年12月5日(2019.12.5)</p> <p>審査請求日 令和2年5月21日(2020.5.21)</p> <p>(31) 優先権主張番号 特願2018-101431 (P2018-101431)</p> <p>(32) 優先日 平成30年5月28日(2018.5.28)</p> <p>(33) 優先権主張国・地域又は機関 日本国(JP)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 514135904 有限会社アイエムエイ 大阪府岸和田市真上町9 1-1</p> <p>(74) 代理人 100124316 弁理士 塩田 康弘</p> <p>(72) 発明者 今口 正一 大阪府岸和田市真上町9 1-1 有限会社 アイエムエイ内</p> <p>審査官 田辺 義拓</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 苗の移植装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

個別に苗が植えられ、互いに分離し得る単位苗床が平面上、二方向に配列して構成された苗床を支持し、フレームに支持された苗トレイと、

前記フレームに支持され、前記苗トレイ上の前記単位苗床の移植先となり、前記単位苗床が納まる孔が形成された水耕パネルと、

前記フレームに鉛直軸回りに回動自在で、昇降自在に支持され、前記苗トレイ上の単位苗床を前記苗床から分離させて保持し、前記水耕パネルの前記孔内に前記保持している単位苗床を挿入し、離脱させる保持部材とを備え、

前記保持部材は前記苗床の最も外周側に配列し、前記単位苗床が隣接しない側面を有するいずれか1個、もしくは複数個の単位苗床を前記単位苗床の前記側面側から前記単位苗床の幅方向に保持して前記苗床から分離させることを特徴とする苗の移植装置。

【請求項2】

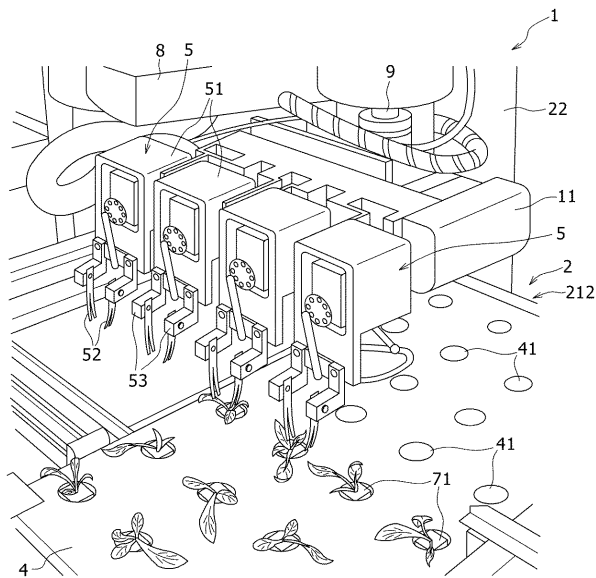
前記保持部材による前記単位苗床の分離時に、前記苗トレイ上の、前記保持部材が前記苗床から分離させる前記単位苗床以外の部分を、前記単位苗床の前記側面側から押さえ、元の位置に拘束する拘束部材を備えることを特徴とする請求項1に記載の苗の移植装置。

【請求項3】

前記拘束部材は前記フレームに、前記保持部材による前記単位苗床の分離の方向に交差する方向にスライド自在に支持され、前記保持部材による単位苗床の分離時に、この分離させられる単位苗床以外の部分の位置に移動させられることを特徴とする請求項2に記載

8 ……アーム、9 ……ロッド、  
10 ……案内棒、10 a ……溝、  
11 ……制御装置。

【図 1】



【図 2】

